

# 日中友好協会 八王子支部 ニュース



みんなで参加・多彩な活動! 広げよう・大きな“わ”! 佐藤副支部長: FAX:042-645-8415

2023. 7. 23

## 関東大震災から 100 年

日朝協会都連会長

### 朝鮮人・中国人らの虐殺はなぜ起こったのか? 宮川泰彦さん

#### 9.1 関東大震災

100周年朝鮮人犠牲者追悼式典実行委員会主催の追悼式典が9月1日墨田区横網町公園追悼碑前で執り行われます。

それに先立つ7月23日の学習会は、

日中友好協会八王子支部と日朝協会八王子支部が共催し、日朝協会都連会長宮川泰彦さんを講師に朝鮮人・中国人らの虐殺を過去の出来事として終わらせない、100年前の事実から学び、どう今に繋げたらいいのか、考える場になりました。

宮川さんは、追悼式典の実行委員長として、小池都知事に追悼の辞を求めて、直接交渉に当たっています。宮川さんはなぜ追悼式典をしなければならないのか、みなさんと考えたいと話を進めました。

前半は虐殺の概要です。中国人約700人の虐殺は警察が実行しましたが、朝鮮人については軍隊・警察・民間人である自警団でした。2008年中央防災会議は「殺傷の対象となったのは、朝鮮人が最も多かったが、中国人、内地人も少なからず被害にあった」「殺傷による死者の1~数%にあたり」という推計報告を出しています。虐殺は明白な事実です。

しかし、虐殺否定論は、2017年都議会での古賀俊明都議の質問として出てきました。官民が一緒になった虐殺否定論の動きは根深いのです。明治政府以来の日本がとって来た暴力・戦争による異民族支配とその連鎖とみると理解できます。

日本の侵略に抗して闘う中国朝鮮の民衆を“内敵”として徹底して弾圧しました。朝鮮中国の地でその指揮をとったのが水野錬太郎内務大臣、赤池濃(あつし)警視総監でした。水野をはじめ弾圧経験のある軍部や警察官が民間人として日本に戻り、震災後すばやく自警団を組織し、官民一体の虐殺団が出来上がっていったのです。そして2年



お話し: 宮川泰彦さん  
(日朝協会都連会長)

後(1925年)の治安維持法制定に繋がります。

震災40周年の1963年に、日朝協会は朝鮮人犠牲者調査特別委員会を設置し、1973年の50周年に碑を建立し、東京都へ寄贈しました。建立実行委員会の代表委員13名には、当時の都議会全会派(自、公、社、共、民社)の幹事長が就任し、1974年9月1日の式典から、歴代東京都知事は追悼の辞を送ってきていましたが、2017年の追悼式典から、小池都知事は追悼文を送ってきません。来年は都知事選挙があります。歴史の事実を認めない知事を替えたいと思います。そしていま私たちに求められているのは、過去の歴史的事実から目を離さない、歴史は続いています。

最近、韓国の市民たちの間で、関東大震災朝鮮人虐殺に関心が高まっています。日本の市民の犠牲者追悼の運動にも関心が向けられ、ハンギョレ新聞や市民団体からの取材を受けることが多くなりました。韓国や中国の方々とも協力して、私たちはこの日本での虐殺否定論は認めないという世論を大きくしていきたい、と宮川さんは結びました。(日朝協会八王子支部 島岡まり)



この悲劇  
繰り返しはせぬ

#### 関東大震災100周年 朝鮮人虐殺犠牲者追悼式典

2023年9月1日(金) 東京・墨田区 横網町公園 午前11時~

今年関東大震災100周年にあたり、歴史を学ぶ機会として、その取組を支援し生かしたいと思ひます。100年の関東大震災に際して、数千人といわれる朝鮮人と700人以上の中国人が当時の軍隊や警察、自警団によって虐殺されました。日本の社会主義者、労働運動の指導者たち10人も国家権力によって殺されました。しかし政府は、今までの事実の全容を明らかにせず、加害責任をアソビと断り、平和と安んじた被害者(700名)の追悼に際し、犠牲者追悼の式典を催すことを断り、追悼式典を断るという決定を改めて追悼式典を行いません。



JR(両国)下車 徒歩10分  
地下鉄有楽町線「豊洲」A17下車徒歩10分  
地下鉄大江戸線(両国)E12下車徒歩7分

賛同・支援募金のお問い合わせ  
取り組みの成功と継続の発展のため、支援募金へのご協力をお願いいたします(個人10千円、団体100千円)  
郵便振替: 00110-5-401438  
加入名: 関東大震災朝鮮人犠牲者追悼実行委員会

9.1 関東大震災朝鮮人犠牲者追悼式典実行委員会  
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-11-19-501  
(連絡先) 事務局 日朝協会都連会長会 FAX/TEL 03-2230-2282  
宮川泰彦 03-6313-1159 小島晋 090-1456-7347 石井賢二 03-3744-1957

○核兵器禁止条約は発効したが・・・

核兵器禁止条約が2021年1月に発効しましたが、今、その効力が問われています。ウクライナ戦争では、「ロシア前大統領のメドヴェージェフ安全保障会議副議長は7月30日、仮にウクライナによる反転攻勢が成功すれば、ロシアは『核兵器を使用せざるをえなくなる』とソーシャルメディアに投稿した」とロイター通信が伝えました。

西側諸国も、これに対応して、核配備を望む声が高まっているようです。こんな現状を許しているのでしょうか？

また、ザポリージャ原発の動向も見逃せません。いつ原発が、攻撃されて、放射能が漏れ出すのか分からない状態です。

○731部隊は戦犯を免責、米軍の被爆調査に協力

昨年12月に八王子の中央図書館で行った、「731部隊、原爆、ビキニ」展では、戦時中、中国東北地方の平房で人体実験を繰り返し、細菌兵器を製造し、中国各地で、細菌戦を行った731部隊が、戦後、アメリカにその実験データを渡し、戦犯を免責され、その代わりに、米軍の被爆調査に協力し、被爆の被害を矮小化しました。

それだけではありません。1948年1月26日に起きた帝銀事件（12人が毒殺された）では、GHQは、731部隊員を捜査していた警視庁の捜査に圧力をかけると共に、マスコミにも、軍関係の捜査報道、特に731部隊のことを新聞等のメディアに、掲載するのを止めさせ、捜査対象を転換させました。

○第5福竜丸だけに見舞金で政治決着

それに続き、1954年に起きたビキニ環礁での水爆実験で、多くの日本の漁船等が、被ばくしたにも関わらず、アメリカは、法的責任のない見舞金を日本政府に200万ドルを払い、それを第5福竜丸の乗組員や関係漁業団体だけに当て、政治決着させました。その他の多くの漁船員が被ばくの後遺症で苦しむ働けなくなり、家庭崩壊も起きましたが、補償はされませんでした。今その元船員や遺族が、その補償を求め、高知と東京で裁判を起こして闘っています。

そして、2011年3月11日に起きた東北大地震では、地震や津波の影響で福島第一原発の事故が起こり、その放射能は広い範囲に被害をもたらしました。

広島、長崎、ビキニ、福島で、日本は多くの被ばく者を出し、今現在も苦しんでいます。放射能汚染は、未だ続いています。

○福島第一原発汚染水は原発事故の副産物

そんな中、この夏、福島第1原発の汚染水（政府は「アルプス処理水」と呼んでいる）を海洋放出すると政府は言い出しています。汚染水（処理水）を薄めて海洋に出すと言っていますが、これは普通の原発の冷却水ではありません、原発事故に絡む副産物であることを考えれば、通常の放射性廃棄物とはいえません。福島はもとより全国の漁業協同組合、日本各地の多くの市民団体、宮城県議会も全会一致で海洋放出に反対しています。

そればかりではなく、全米海洋研究所協会も反対声明を出し、中国政府、韓国の野党や市民からも大きな反対の声が届き、特に中国政府は、10都県からの食品の輸入停止をすると表明しています。

○アメリカの策略と日本の保守勢力が原発推進

日本は、1954年のビキニ水爆実験の放射能被害で苦しみ、全国で原水爆禁止運動が拡がり、核実験に反対する署名が3000万余にもなりました。ところが、アメリカの策略と日本の保守勢力の力で、原子力の平和利用の方向に、進んでいってしまったのです。アメリカの影響が如何に大きいかを物語っています。

日本学術会議では、731部隊の反省・批判もなく、その関係した医学者たちが、中枢に居座った事もあり、被ばくの問題は矮小化され、被爆国でありながら、原発推進の方向に今日まで来ています。大きな疑問を感じます。

2023 第6回 むさしの平和のための戦争展  
もう一つの被ばく  
～第五福竜丸・高知のマグロ漁船・  
マーシャルの人たち～

パネル展  
日時 8月4日（金）13時～19時  
8月5日（土）10時～18時  
8月6日（日）10時～15時

会場 武蔵野プレイス  
1Fギャラリー  
パネル① 第5福竜丸パネル  
② マーシャルの被ばく  
③ 「ビキニ事件」はまだ聞  
いていない（写真家「の  
みすえ」より）

入場無料  
観覧券 武蔵野プレイス4Fフォーラム  
8月5日19時～「日本の核開発」山崎正勝さん（東工大名誉教授）  
8月6日19時～「西から太陽が昇った」市田真理さん（都立第五福竜丸展示館学芸員）  
観覧券 各80円（定員100名まで）

主催：むさしの科学と戦争研究会  
連絡先：東京都豊島区豊島03-621-1003  
03-621-5532-5515（奥室）  
メールアドレス musashisocsci@comnet.ne.jp  
Facebook https://www.facebook.com/musashisocsci  
Twitter https://twitter.com/musashisocsci

2023 第6回 むさしの平和のための戦争展  
もう一つの被ばく  
～第五福竜丸・高知のマグロ漁船・  
マーシャルの人たち～

講演会（5・6日とも先着100名・参加費500円）  
8月5日（土）19時～「日本の核開発」  
講演 山崎正勝さん（東工大名誉教授）

東京工科大学名誉教授、科学史・戦時史  
著書『日本の核開発 1939-1955 原爆から原子力へ』（博文堂、2011）、共著  
『原爆はこうして開発された』（青木書店、1990-1997増補）、共編『戦時  
を生き抜いた科学者 原爆史』（東京工科大学学術出版、2014）  
戦時中、日本のアパースは原爆の開発に取り込んだ。彼らは、戦後の  
ビキニ事件や原子力施設にどう関わってきたのか、歴史と現在の戦時科学  
ジャーナリストとして活躍した山崎さんから話を伺おう。

8月6日（日）19時～「西から太陽が昇った」  
講演 市田真理さん（都立第五福竜丸展示館学芸員）

中央大学・立教大学兼任講師、明治学院大学国際中東研究所研究員、  
共編『第五福竜丸は核爆とビキニ水爆実験事件と被ばく漁船の歴史』  
（現代文芸堂、2014）  
ビキニ事件の被害と第五福竜丸の現在について、被ばくした大石七世  
さん（故人）にずっと寄り添ってきた市田さんから話を伺おう。  
また、被ばくしたのは第五福竜丸だけではない、今も続く未解決の問題に  
ついてもお話を伺おう。

主催：むさしの科学と戦争研究会  
連絡先：東京都豊島区豊島03-621-1003  
03-621-5532-5515（奥室）  
メールアドレス musashisocsci@comnet.ne.jp  
Facebook https://www.facebook.com/musashisocsci  
Twitter https://twitter.com/musashisocsci



画像出典元: 珍藏懐日版四大名著連環画「三国演義」

董卓は、貂蟬を王允の邸宅から引き取り、城へ引き上げた。まもなくすると、このことは呂布の耳にも入り、呂布は、王允の自宅に手勢を引き連れて押しかけ、「王允、話が違うではないか。」と狼藉をはたらいだ。王允にとつてはここまで予想どおりの反応を呂布が示したことに多少の驚きを覚えつつも、「董卓師は、呂將軍にそちの娘を差し出すと申し出たそうだが、ひとまず、わしに引き渡せ。」と仰せられたのです。「と嘘をついた。そして、王允は、呂布がどのような反応を示すのかみんなでからかつてやろうと董卓が思っているなどと述べた。

呂布は董卓が実際には貂蟬を囲うつもりではないことにひとまず安堵した。呂布は、その日は、機嫌を取り直して王允の邸宅を去った。しばらくして、呂布は、貂蟬のことが気になり、何事も手につかず、董卓がいる邸場に向かう。邸場城に入ると董卓の従士は、董卓と娘が休んでいると言ふ。呂布は気が気でなく、従士の静止を振り切って、董卓の寝室に入る。すると貂蟬が出てくるが、董卓の姿は見えない。貂蟬は、呂布を目にする と駆け足で寄ってくる。「貂蟬、そこに誰かあるのか。」董卓の声が聞こえる。貂蟬は、呂布が訪ねてきたことを董卓に告げるが、董卓は、断りなく寝室に入ってきたことに腹を立て、呂布に退室を命じるのであった。

呂布は、自宅に帰り、しばらく酒におぼれるようになった。貂蟬への想いが日に日に強くなつていく。ある日、呂布は、再び邸場に向かう。邸場に忍び込み庭園を貂蟬が歩いているところで、声をかけた。すると、貂蟬は呂布に駆け寄ってきて、「將軍お会いしようございました。けれども私は將軍の下でお仕えることは叶いません。」と悲嘆にくれる。呂布は「貂蟬、そんなに悲しむな。必ずやそなたを救ってみせる。たとえ董卓を殺しても。」と告げるのであった。二人が抱擁を交わしているさなか、そこに董卓が姿を現すのであった。

熊谷市けやき法律事務所

けんたの話 ④ 対話こそが差別をなくし平和を導く

6月24日、明治大学リビティタワーで、関東大震災犠牲者追悼学習会が開催されました。山田朗先生が「戦争・侵略=植民地支配・暴力の関係性」と題して講演して下さいました。

講演では概ね、まず、ロシア脅威論から日本の膨張主義・軍拡論が叫ばれ、やがて戦争と侵略を重ねる内にそれが定着化して、脱亜論と共にアジア人に対する差別意識が蔓延しながら日本国内・植民地内に於いて反体制派が弾圧された歴史を踏まえられました。そんな中で起こったのが関東大震災であり、様々なデマや憶測が流れますが、それを利用して政府は中国人・朝鮮人を敵視させて、国民を扇動し、日本人が彼等を虐殺したことが説かれました。

現代の日本人の中で、この事を本当の意味で理解している者がどれだけ居るでしょうか。虐殺してしまっただけが過ちなわけではありません。日本人の根底にあった、アジア人に対する民族差別の意識にも大いに問題があります。

如何なる民族も平等であり、絶対に差別されてはならない事は言うまでもありませんが、現代に至っても、中国人・朝鮮人を卑しく考える日本人が絶えません。これは恥ずべきことです。差別主義者との誹りは免れません。この状況を鑑み、私達は何をすべきでしょうか。



私はその答えに「対話」とおきたい。

差別に直面する当事者と対話をする。同じ思いの仲間と対話をする。間違っている人がいるなら、それは違ふよ、と対話をする。対話こそが、平和を導くと確言しています。だから、私は今日も動きます。いつか差別が無くなった幸せな社会が訪れると願って。

\*松永健汰さんは、昨年12月に日中友好協会八王子支部に 入会した、高校生の会員さんです。

カルト議員は  
お断り!

軍拡より  
攻められない  
外交を!

軍拡増税は  
くらしを壊す!

だれも  
憲法変えるの  
望んでない!

核兵器禁止条約に  
日本も  
参加しよう!

入管法見直して  
共に生きよう!

原発再稼働  
新設もダメ!

第 97 回

## NO WAR! 八王子アクション

2023年8月19日(土)10:30~ JR 八王子駅北口

### 第 19 回定期総会のご案内

炎暑の候、昨年末の「安保関連3文書」の閣議決定後、中国を念頭に防衛力整備に関わる法案が次々と可決されました。こんな折だからこそ、対話に基づく不再戦・平和・友好の日中友好協会の精神に立ち返った交流が大きな意味を持ってきます。

日本中国友好協会八王子支部は、第19回定期総会と創立18周年記念学習会を開催します。暑い最中ではありますが、ご出席を賜りますようお願いいたします。

つきましては、お手数ながら、総会の出欠・委任状、記念行事の出欠について、8月15日迄に返信葉書をご投函してくださいますよう宜しくお願い致します。

記

1. 日時 8月27日(日) 12:30~13:30 受付12:00~
2. 場所 アミダステーション(1階)
3. 議題 ①第18期年度活動報告・決算報告 ②会計監査報告 ③第19期年度活動方針(案)・予算(案) ④新役員選出
4. 記念行事 創立18周年記念学習会

#### 「日中米の関係は今後どうなるのか」

「台湾有事」を理由に軍事強化し、日中関係を悪化させる岸田内閣。アメリカと中国は本当に軍事衝突を起こそうとしているのか? 米中関係の実態と現状を歴史的に明らかにし、日中米関係の今後を探る。

講師: 日本中国友好協会参与 末浪靖司さん

受付=13:30~ 14:00~16:00

5. 連絡・問合せ先: 042-622-6736 藤原、042-664-5980 中道

山越拓児さんの  
世相を映す替え歌<sup>28</sup>

## 「隣の国に」 ~ 「遠い世界に」

♪隣同士だ 仲良くしようよ  
互いに「脅威にならない」ことを  
日中両国 合意している  
対話を重ねて どんな揉め事も  
時間をかけても解決していこう  
暗い霧を吹き飛ばしたい

♪僕らの生きてる アジアの地域  
明るい平和の 地域にしようよ  
東南アジアとインドも含めて  
力を合わせて 生きていこうよ  
日中どちらも 賛同している  
ならばこの道 進んでいこう

♪戦争放棄と 戦力不保持を  
掲げる9条 日本の国が  
対話と外交努力を重ねて  
みんなで歩こう 長い道でも  
一つの道を 力の限り  
アジアに平和を つくっていこう

### 《日中友好協会八王子支部日程》

- 8月13日(日)10:00~八王子支部理事会  
(アミダステーション2階)
- 8月27日(日)12:30~  
日中友好協会八王子支部第19回総会  
記念講演 「日中米関係の今後」  
日中友好協会・末浪靖司さん
- 9月24日(日)10:00~八王子支部理事会  
(アミダステーション2階)  
13:30~映画会「少年の君」  
—いじめが主題の中国映画
- 10月28日(土)生涯学習フェスティバルに参加  
「中国の文化にふれよう」

八王子支部ホームページ:

<https://nittyuyukohachioji.web.fc2.com/>

日中友好新聞は、東北アジアの平和に役立つ確かな情報と中国の文化・歴史の豊かな情報を持つ、月2回発行のタブロイド判8Pの新聞です。嫌・反中報道が溢れる中、公正・中立な報道をしています。ぜひご購入下さい。

1ヶ月550円(送料込み)購読申込 042-645-8411:佐藤